

淀川水系流域委員会 委員 御中

2004年3月29日

びわ湖の水と環境を守る会
代表委員 畑 明郎
代表委員 大竹 昭郎

「淀川水系流域委員会の『意見書』を読む会」へのご出席のお願い

貴会のご活躍に敬意を表します。

さて私たちは、淀川水系流域委員会の活躍に注目し、『意見書』（平成15年12月）に共感を覚えています。しかしながら『意見書』について意見もあり、『意見書』について学習し、流域委員会委員のみなさんと意見を交換したいと考えています。

ついては、下記のような会合を計画していますので、ご出席いただければ幸いです。なにとぞよろしくお願いいたします。

記

- 会合名 「淀川水系流域委員会の『意見書』を読む会」
びわ湖関連ダム問題を中心に、水位問題、エコトーン再生など
－「びわ湖の会」の集会（外部非公開）とします
- 日 時 2004年5月29日（土）pm2:00～4:45
- 会 場 大津市ふれあいプラザ 明日都浜大津 4F 視聴覚室（頭 42席）
京阪電車浜大津駅から徒歩 加藤秋津4-1-1 TEL 077-525-1215
- 内 容 (1)「びわ湖の会」会員による『意見書』への意見発表（複数）
(2)流域委員会の委員（有志）との意見交換
結論を得る会合ではありませんので、まとめはしません。
- 参加人員 確定できませんが、10～20人と思われます。

出席の可否について、FAX 077-524-6860 「びわ湖の会」事務局 西田清までお知らせくださるようお願いいたします。4月16日までにお知らせいただけるとたいへん幸せです（もっとも返事の遅れることがあっても結構です）。

なお「びわ湖の会」の会則、役員などを別紙に添えましたので、ご覧ください。

以上

「淀川水系流域委員会の『意見書』を読む会」へ			
<input type="checkbox"/> 出席する			
ご氏名		TEL	FAX
ご住所			

<送付先・問い合わせ先>

「びわ湖の水と環境を考える会」事務局 TEL・FAX：077-524-6860
（電話の場合には、頭に「186」を付けてお電話ください）

びわ湖の水と環境を守る会 申し合わせ

一、名称と目的、性格

この会は「びわ湖の水と環境を守る会」（略称、びわ湖の会）といい、あらゆる環境破壊に反対し、びわ湖の水質と環境の保全、再生をはかり、美しいびわ湖を次世代にひきつぐことをめざす住民運動団体です。

世界と人類と地球の未来に視野をひろげながら、地域における地に足のついた実践をすすめます。

二、事業

- 1、びわ湖とその集水域に関する学習や調査をします。
- 2、機関紙・誌、出版物を発行し、講演会やシンポジウムなどを開きます。
- 3、びわ湖の保全、再生に関する世論の喚起、県や国などへの要請活動をおこないます。
- 4、びわ湖と滋賀の環境をまもる団体との連携をすすめます。
- 5、その他、会の目的達成に必要な活動をすすめます。

三、組織

会の目的に賛同する個人で構成されます。

四、運営と機関

總會を年に一回開き、年間事業計画を決め、役員を選出します。

会の運営は、運営委員会があたります。

運営委員会は、代表委員、事務局長、運営委員によって構成します。

近隣の会員によって地域グループをつくることかできます。

五、役員

会に代表委員若干名、事務局長一名、運営委員若干名、会計監査一名をおきます。運営委員長は運営委員会で互選します。

また会に顧問をおくことができます。顧問は運営委員会に出席して、意見をいうことができます。

六、財政

会の財政は、会費、寄付金、事業活動などでまかないます。

会費は、一人年額二千円とします。

会計年度は当年四月一日から翌年三月三十一日とします。

(二〇〇一年四月二十二日 改定)

びわ湖の水と環境を守る会 役員

代表委員	畑 明郎 (大阪市立大学教授 顧問 礎)
"	大竹 昭郎 (日本科学者会議 滋賀支部代表幹事 顧問 礎)
事務局長	西田 清 (律師 礎)
運営委員	池内登志子 (獣医師 礎)
	佐々木育子 (看護師 礎)
	中江 研介 (看護師 礎)
	長宗 清司 (獣医師 礎)
	浜田 貞二 (獣医師 礎)
会計監査	古山 満 (獣医師 礎)
	山本 敬治 (獣医師 礎)
顧問	岡本 巖 (滋賀大学名誉教授 講師 礎)
	国松 孝男 (滋賀県立大学教授 顧問 礎)
	林 智 (元大阪大学教授 顧問 礎)
	吉原 稔 (弁護士 大脚 礎)